

質問事項	質問の要旨
<p>1 世代間交流を見据えた公園整備の考え方について</p>	<p>町民が、日常の中で集い、笑顔が生まれ、健康を実感できる場をどう再生していくかは、これからの町づくりにおいて非常に重要な視点であると考えます。公園は子どもにとって成長と学びの場であり、高齢者にとっては健康維持や介護予防、そして世代を超えた交流が自然に生まれる、地域に欠かせない公共空間です。</p> <p>震災前には、総合運動公園に遠足で訪れる保育園なども多く、子ども達の声が響く、活気ある場所でした。そうした本町ならではの良さを、次の世代へとつなぎ、将来に渡って誇れる町を築いていくことがこれからの町づくりにおいて重要であると考えます。以上を踏まえて、公園と遊具のあり方について3点伺います。</p> <p>(1) 各地区の公園への遊具設置は、どのような考え方や条件のもとで判断されているのか伺います。</p> <p>(2) 町民の健康増進や世代間交流の場づくりという観点から、今後の各地区公園整備において、新たな視点の遊具新設や更新を検討することについて見解を伺います。</p>

質問事項	質問の要旨
	<p>(3) 各地区の公園整備とは異なる着目点での整備を図ることで、小さな子どもたちが行ってみたいと思う楽しい公園、町民が集い語らう憩いの公園として魅力づくりを行うことが必要と思います。</p> <p>復興まちづくり基金を活用して、総合運動公園をマッシュパーク2とし、震災前のような賑わいを取り戻す場として再生していく考えはあるか、見解を伺います。</p> <p>(質問の相手：町長、教育長、担当課長)</p>